

上智大学連携講座 つくる I 「地球から月へ、月から地球へ」講義概要

2016/1/8 トヨタ自動車株式会社 加古純一

講義の技術的内容：



開発にあたり、存在意義：Mission、目指すべき姿：Vision、行動指針：Value を定義。

さらに、自動車開発で育んだ技術の月面への適用（地球から月へ）と、月面で鍛えた技術の地上還元（月から地球へ）を狙う。

例えば、再生型燃料電池は災害時の避難所を含めた街への適用で、循環型の生活やカーボンニュートラルに貢献可能な技術である。

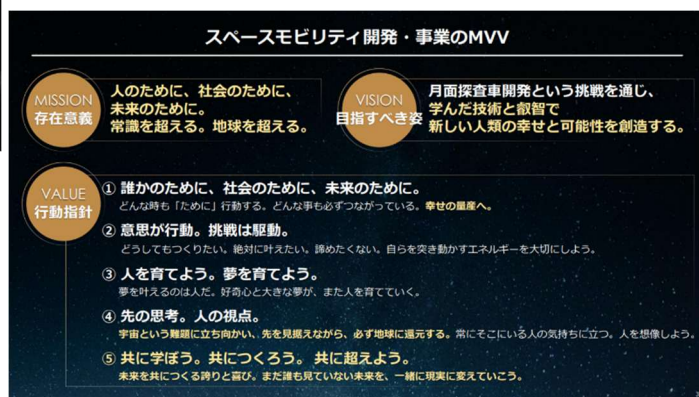
<https://youtu.be/xOnkkUhoe44>




キャリア形成について：

入社以来、ほとんど先行開発部署に籍を置くことになったが、常に原理原則を突き詰めていた。さらに社外も含めた人とのつながりが、今の私の仕事やその広がりにつながり、今の私の仕事やその広がりに直結。

NASA、JAXA と共にトヨタ自動車は 2031 年 打上げ予定の月面広域探査用のモビリティ（愛称：ルナクルーザ）を「つくる」。



自己紹介



加古 純一
'89/3 名古屋工業大学 電気情報工学科 修了
'89/4 トヨタ自動車株式会社 入社
約5年間 エンジン先行開発部署のコンピューター導入 Laboratory AutomationにWS、Engineering OAにMacintoshを導入
約10年間 エンジン先行開発部署のエンジン制御開発 モデルベース開発(MBD)モデル開発@お台場オフィス 開発制御が量産移管決定し、開発者としてそのまま異動
約6年間 エンジン量産開発部署のエンジン制御開発 アクセルペダル問題発生したが、多くの量産制御を開発
約12年間 エンジン～パワートレーン先行開発部署の制御開発 多くの先行制御を開発
'19/3 上智大学 機械工学博士 取得
'23/5 トヨタ自動車株式会社 定年&再雇用 約2.5年 パワートレーン先行開発部署の制御開発 現在、Lunar Cruiser 開発プロジェクトに参加

講義に対する質疑・コメント：

再生型燃料電池について、地上での活用可能性を含めた多くの質問・コメントをいただいた。

ワクワクしたとのうれしいコメントもあり。

